

51 大規模キュウリ共同選果施設の多面的評価

福島県農業試験場経営部・平成12年度農業試験場試験成績概要

1 部門名 農業経済－その他－計測・調査法 分類コード 14－99－64600000

2 担当者 新田耕作

3 要 旨

JAすかがわ岩瀬に導入された大規模キュウリ選果施設(きゅうりん館)を事業主体のJA、受益者の利用農家、補助金を支出した自治体の3面から費用と便益を測定し、多面的に評価することを通じてその導入効果を測定した。

(1) 農家は選果場を利用することで家族との団らんの時間が増えたり、慢性的な疲労が軽減される。こうした効果を経済的に評価した結果、地域全体では家族との会話・団らんに対して3,702万円、疲労軽減に伴う健康維持・増進効果は8,194万円と推計された。

(2) きゅうりん館導入後に利用農家が拡大したキュウリ栽培面積568aと、きゅうりん館が稼動を中止した場合の減少する面積1,730aをきゅうりん館の導入による産地維持効果として金額に換算すると4億6,189万円であった。

(3) きゅうりん館の導入に伴う利用農家の新たな費用は、利用料金総額1億3,956万円である。便益は、産地維持効果、家族との団らん、疲労軽減に伴う健康維持・増進効果であり、その合計金額は5億8,084万円と推計された。

(4) 施設単独の経済性では費用が1億7,794万円、便益が1億5,074万円となり、費用が便益を上回った。また、農業施策として補助金を支出した須賀川市においても費用が2,758万円、便益が1,318万円となり費用が便益を上回った。

(5) 以上、きゅうりん館導入による地域全体の多面的評価を行った結果、費用が3億4,508万円、便益が7億4,476万円となり、地域に3億9,968万円の効果を及ぼしていることが明らかになった。